

長野高専環境都市工学科による いざわがわ 荻沢川石積みえん堤の測量・調査

国立長野高専環境都市工学科3年生の学生たちが、測量や調査などの専門技術を学び、将来の職業を考える機会として、平成30年11月8日 千曲市の荻沢川の石積みえん堤の測量、調査を行いました。

この取り組みは、国立長野高専、一般社団法人長野県測量設計業協会、土木・環境しなの技術支援センターの共同で行ってきた現場授業で、今年で6回目になり、今回は長野県と長野高専の包括協定に基づき、県建設部千曲建設事務所が主催者に加わりました。

当日はまず千曲建設事務所で開催式につづき、「荻沢川砂防の歴史」を千曲建設事務所勝山さんから講義をして頂きました。その後現地へ行き、7班に分かれて、調査と測量を行いました。

- ・内4班は測量協会の技術者の指導にもとづき、石積みえん堤の平板測量、水準足測量を
- ・内1班は石積みの形状の確認や積み方のスケッチを
- ・内2班は初めての試みとして、砂防工事が行われた背景を学ぶため、建設事務所、千曲市の職員の方と上下流の調査を行いました。

当日は、天候には恵まれ、色づいた山を見ながら作業は順調に行うことが出来ました。15時から近くの桑原体育館で各班の作業成果や感想などを発表し、まとめを行いました。

学生たちからは学校の授業では得られない「現場を体感」できたとの感想がありました。指導にあられた測量協会、千曲建設事務所、千曲市の皆様ありがとうございました。この測量、調査の成果は来年3月を目標に学校でまとめ、千曲市等へ提出する予定です。

※荻沢川の石積みえん堤の概要は、<https://www.pref.nagano.lg.jp/chikuken/documents/panfu.pdf> を参考にしてください。



い



※荻沢川第7号石堰堤

